

平成30年度日本造園学会全国大会 学生公開デザインコンペ

京都は、プライベートな居住空間であっても京町家にみられるように、街となめらかにつながるための建築や庭を様式として発展させてきた。たとえば「坪庭」や「通り庭」は採光や通風の仕組みとして造られている。また、オープンスペースが、通り、路地から社寺境内へと繋がることによって、パブリックな街の自然として、機能的、景観的、そして文化的に京都を特徴づける要素となっている。

しかし、歴史的に自治意識の強いコ

ミュニティによって、これらを維持形成してきた京都であっても、地域社会の担い手の減少が進んでいる。京都の街を特徴づける都市景観も一部で中高層化が進んでおり、京都らしい個性と魅力ある都市の再生が大きな課題となっている。

三方を山々に取り囲まれ、豊かな自然と共生する特徴的な都市構造を有し、山紫水明の地と呼ばれてきた京都は、いわば庭の中の都市であり、都市自体が大きな庭とも考えられる。ここで、都市の共同生活の場として、通り、路地、社寺境内、河

川等も庭の構成要素として見るならば、時代とともに都市構造が変化する中であっても、庭を中心に生かして、生活環境のポテンシャルを高める京都の新しい仕組みを構築することができるのではないだろうか？

日本人には伝統的に、ものを美しく作る繊細な能力がある。これはデザイナーというよりも施工者の、あるいは職人の能力である。この能力が生かされるべきは、街中が公園になるような快適な屋外環境を造る時である。ランドスケープアーキテクトにとって、パブリックな空間に力を注ぐことも大事であるが、パブリックは、それと表裏一体のものとしてのプライベートがあって初めて成り立つものである。

また、コモンという概念は、複数の主体がプライベートを共有することを意味するが、現代のパブリックの議論には、このようなコモンの概念は、十分に加味されているであろうか。こうしたことから、これからのランドスケープデザインを考える上で、一旦、ランドスケープデザインが技術の根源をもつ「庭」を議論の本流に戻し、伝統的な庭師の職人技術が持つ風土性を、評価し直すことが必要であろう。

では、21世紀の京都に庭はどのような役割を果たすべく登場するのであるだろうか？本コンペティションでは、京都を「庭」の力を生かして再生させ、より魅力的にする、具体的な空間デザインの提案を求めものとする。

「庭」の力を 生かした 京都の再生

■応募資格

高校生、専門学校生、短大生、大学生、大学院生の個人またはグループとする。なお、登録時に学生であれば応募時(作品提出時)に社会人になっていてもかまわない(高校生は一次審査のみ)。パネルは日本語または英語、プレゼンテーションは日本語とする。英語のみを使用する者が応募する場合は、日本語によるプレゼンテーション(質疑応答を含む)が可能な者と組んで、グループで応募すること。2018年5月25日(金)に京都大学北部総合教育研究棟益川ホールで行われる二次審査会(公開プレゼンテーション)に参加可能であること。入賞者は5月26日(土)の表彰式への参加が義務付けられる。その他詳細については以下のURLを参照すること。

☞ <http://www.jila-zouen.org/annualmeeting/6479>

■対象地

各自の問題意識に応じた京都市内の場所すべてを自由に選定する。テーマの例としては「景観・水と緑・公園」、「防災・減災」、「インフラ(道路、水路等)」、「祭り・歴史文化」、「跡地、未利用地」、「地域コミュニティ」、「自然との共生」等が考えられるが、それ以外にも含め京都の都市課題の解消や次世代都市の創出に資する様々な関連テーマを、幅広く空間デザインの対象とする。

■提出物

- ①A1サイズ(594mm×841mm)用紙2枚まで。横長方向で使用し、5mm程度の厚さのパネルに貼り提出。
- ②電子データ:作品の電子データをCD-Rで提出。

■スケジュール

登録期間:2018年2月1日(木)~4月6日(金)
応募作品の受付:2018年4月6日(金)~5月7日(月)(必着)
一次審査会:2018年5月12日(土)
二次審査会:2018年5月25日(金)
審査結果発表・表彰式:2018年5月26日(土)

■表彰の内容

最優秀賞(1点) 賞状、賞金(5万円)
優秀賞(2点) 賞状、賞金(2万円)
佳作(7点程度) 賞状、賞金(1万円)

■登録方法

- 1)下記の連絡先に必要事項を記入の上、「コンペ登録希望」をタイトルに入れたメールを送付してください(右のQRコードから送ることができます)。
- 2)必要事項:応募者氏名・所属(グループの場合は代表者氏名と構成員名、全員分の所属)、代表者の住所・電話番号・メールアドレス
- 3)連絡先: jilacompe@jila-zouen.org
(担当:村上修一)

■提出先

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学農学研究科森林科学専攻環境デザイン学研究室内「日本造園学会学生コンペ」事務局

■審査委員

【審査委員長】
佐々木葉二(京都造形芸術大学 教授)

【一次・二次審査委員】

尼崎 博正(京都造形芸術大学 教授)
片山 博昭(京都市/日本造園修景協会京都府支部)
岸 和郎(建築家/京都造形芸術大学大学院 教授)
田畑 了((株)園三 代表)

【一次審査委員】

今西 純一(京都大学 助教)
河合 健(京都造形芸術大学 教授)
武田 史朗(立命館大学 教授)
村上 修一(滋賀県立大学 教授)
山田 拓広(花豊造園(株) 代表取締役社長)



←コンペ
要項URL



応募登録
メール→